

**記帳代行業務を飛躍的に省力化し会計事務所業務を変革！**

Entry Innovation(記帳業務革新)構想から生まれた

**原始伝票入力サブシステム™**

株式会社 日本デジタル研究所(略称:JDL)は、平成 25 年 4 月 2 日、会計事務所共通の経営課題である記帳代行業務の省力化を実現するシステムを 1 パッケージにした『原始伝票入力サブシステム』を発表。同日、販売を開始いたします。

会計事務所業務の大半を占め最も多くの時間を費やす記帳代行業務。自計化に対応できない顧問先は依然として大多数を占め、業務効率の向上とコスト削減の両面から、記帳代行業務を省力化することが会計事務所共通の課題になっています。JDLはこの課題を解決するために、新着想の「質問式伝票」を軸にして、原始伝票を会計事務所に持ち込まずに記帳代行を効率的に処理することができる複数のシステムを 1 パッケージにした「原始伝票入力サブシステム」を新開発。記帳代行のサービスはそのまま、会計事務所の記帳代行業務を省力化し、事務所経営を革新します。

**記帳代行業務の“困った”を一気に解決！****■革新的なスタイルを組み合わせ、記帳代行業務を省力化****・新着想の「質問式伝票」と「OCR」で記帳代行を省力化**

新開発の「質問式伝票」は、「いつ」「どこで」「誰と」「何のために」「いくら」といった質問に沿って記入だけで、仕訳の判断に必要な情報がすべて揃う画期的な伝票です。顧問先が起票した伝票は、OCR「ACCOUNTING OCR 漢字 500」で読取り、仕訳データに変換することができますので、記帳代行業務を飛躍的に省力化します。また、原始伝票を預からずに処理を行うことで、領収書などの整理や保管などの雑務もなくなります。

**・OCR 伝票を「質問式伝票入力方式」の記帳ソフト「JDL IBEX 出納帳 Et(無償)」で作成**

「JDL IBEX 出納帳 Et」は、質問式伝票を手書きではなく PC で記帳したいとお考えの顧問先に最適なソフトです。JDL IBEX 出納帳 Et で入力したデータを基に OCR 伝票を作成。OCR 伝票を顧問先から預かり、ACCOUNTING OCR 漢字 500 で読取りデータ変換することで、会計事務所のデータ入力作業を飛躍的に省力化できます。また、入力したデータは CSV データに変換\*することもできますので、「Web POSTBOX」機能によりドラッグ・アンド・ドロップの操作でスピーディに会計事務所に提出することができます。※「Web POSTBOX」は、現在開発中です。

**・原始伝票をイメージデータ化して参照入力**

原始伝票を預かり処理を行っている顧問先は、訪問時にハンディスキャナーで原始伝票を読取りイメージデータ化し、事務所でイメージデータを同時表示して仕訳データを入力します。原始伝票のイメージデータは、仕訳データと共に DVD などのメディアに登録した「電子伝票ディスク」として提供できますので、利用価値の高い資料提供を実現します。

**・入力した仕訳データを CSV データに変換、各社会計ソフトに取り込み活用**

質問式伝票を OCR で読取った仕訳データや、原始伝票イメージを参照入力した仕訳データは、CSV データに変換し各社会計ソフトに取り込むことができますので、今ご利用の会計ソフトを変えることなく作業を省力化し、記帳代行業務に伴う課題を解決することができます。

**原始伝票入力サブシステム 価格 88 万円****【製品構成】**

- ・ハードウェア: JDL μ SERVER Et, ACCOUNTING OCR 漢字 500, ハンディスキャナー
- ・ソフトウェア: 漢字 OCR Entry システム、原始伝票 Reader システム、原始伝票 Entry システム、電子伝票ディスク作成

\*は、オプションです。 ※表示価格には、消費税等は含まれておりません。

※ この件に関するお問合せ先・・・広報担当取締役 浅井 孝男 Tel:03-5606-3111 ※